

島根県

キャッシュレス化の基本知識を整理するセミナーを開催

支援概要

■支援の経緯

世界遺産を有する〇市では欧米や東アジア圏域のインバウンドが多い状況だが、クレジットカードの利用やスマートフォンを利用したキャッシュレス対応が遅れているのが課題である。

市としてはキャッシュレス対応可能な事業者が増えることで、インバウンドの利便性と消費額の向上が期待できると考えており、この機会にキャッシュレス環境の整備を促進するセミナーの開催を考えている。セミナーでは「キャッシュレスとは何か」という基本的なことからキャッシュレスとインバウンドの消費額の相関性や地域の取り組み事例を説明いただき、このセミナーをきっかけに事業者がキャッシュレス環境の整備に踏み出す一歩にしたいと考え、支援を要請した。

■専門家による具体的な支援内容

〇市内の約20名の宿泊・観光施設関連の事業者や観光団体関係者が参加。

セミナーでは、「キャッシュレスとは何か」という基本的な内容から説明し、経済産業省のキャッシュレス化に向けた方針や国内外の消費者がキャッシュレス決済へとシフトしている点、訪日外国人旅行者が増加している点を客観性のあるデータを元に説明した。

また、訪日外国人旅行者の再訪率が高くなっており、地方へ旅行先がシフトしているトレンドについても説明。キャッシュレス化によるインバウンドへの取組に成功したN県N温泉の取組事例を説明し、キャッシュレス化のメリットについて情報の共有を行った。セミナーの最後にはキャッシュレス化についての具体的な対応方法を説明した。

支援の効果

キャッシュレスの基本知識を整理することができ、キャッシュレス化の必要性、環境整備の進め方や効果について参加者の理解が深まり、満足度の高いセミナーとなった。参加者からの質問も多く、キャッシュレスへの関心の高さが伺えた。〇市のキャッシュレス化の促進・普及が期待される第一歩となった。



専門家の声

参加者や地域での問題意識は高く、課題も整理されて明確になっており、団体・事業者様とも、環境整備に向けた具体的な施策を立案し、実行するフェーズに入っていると感じた。

団体の声

キャッシュレス化の現状について把握することができ、導入時のメリット・デメリットを整理することができた。今後は具体的な経費の内訳や補助制度についてのセミナーを開催するとともに、観光協会だけでなく、商工会議所、金融機関、商業事業者を交えて、キャッシュレス化導入に向けて話し合いの場を設け、対応をしていきたい。